

6月後半の活動から

あいさつ運動（生活委員会）

昨年まで「あいさつ運動推進協力校」の取り組みとして、児童会の生活委員が中心になって、児童玄関で毎朝あいさつ運動をしてきていました。しかし、今年度は感染症予防の朝の健康チェックのため玄関での活動の代わりに生活委員が各教室を回って朝のあいさつをしてきています。どの教室からも元気な「おはようございます！」の音が聞こえてきます。気持ちよい1日のスタートです。



6/25 認知症サポーター養成講座（4年生）

4年生が福祉の学習活動を始めました。まずは「認知症サポーター養成講座」です。市役所の長寿健康課の方から、認知症とはどんな病気なのか、どんな接し方が必要なのかについて学びました。アニメの映像から認知症のおばあちゃんのことを知り、みんなで意見を出し合っていました。担当の方と一緒に担任の先生が登場する劇もあり、実感しながら考えを深めていました。認知症の方には、気持ちに寄り添って一緒に行動し、手助けをすることが必要だという大切な学習をしました。



6/26 避難訓練

今年度第1回目の避難訓練は地震を想定して実施しました。2限目の授業が終わりに近づいた10時に緊急地震速報が入り、避難をしました。



すごいぞ中央っ子

先日地域の方からお電話をいただき、とてもうれしいお話をお聞きしました。それは、このようなお話でした…。

平和町の広場の近くの道路で、お年寄りがフラフラ歩いていて、家族の方が何回も声をかけてもなかなか帰宅せず困っていたそうです。すると、広場で遊んでいた中央小の6年生男子2名が、「おばあちゃん、お家の人心配しているよ。ここは車も来て危ないから僕たちと一緒に家へ帰ろう。」と説得して話しながら一緒に帰ってくれたということです。

お話をお聞きして胸が熱くなり、その2人を校長室に招いて様子を聞きました。これは危ないなと思い、2人でお年寄りの両側を守り、一緒に家まで連れて帰ったのだそうです。

この2人も、2年前の4年生の時に「認知症サポーター養成講座」を受講しています。その学びを今回のように実際に行動に移した2人に感動です。すごいぞ中央っ子！